

令和5年度 第2回 学校評価アンケートに関する考察

○保護者アンケート（1～22）の中で、肯定的な回答が8割を下回った項目は4項目ありました。

（ ）の数字は令和5年度第1回アンケートの結果です。

1 「学校は、いじめの予防や早期発見、適切な対応に努めている。」66.2%（62.9%）

本校では、毎月、児童に「大平っ子アンケート」を実施しています。このアンケートで気になる回答をした児童にはただちに面談を行っています。また学期に一度すべての児童と教育相談を行い、いじめの早期発見に努めています。そして月に一度、生徒指導委員会を設け、気になる様子の児童について職員で共通理解を図り対応を検討しています。いじめを認知した場合は大平小の「いじめ防止基本方針」に則り、校内委員会を立ち上げ対策を講じています。

また本校は今年度も、心の教室相談員が週に3回、スクールカウンセラーが月に一度来校しています。その際に児童が相談できる機会があります。相談箱を設置し、児童はいつでも相談事を投函できるようにしています。投函箱は毎日チェックしています。

本校では、これまでいじめの重大事案はありませんが、児童同士のトラブルは報告されています。いじめの未然防止にも十分に努め、いじめ等の事案が起こった場合は引き続き、適切な対応を行っています。

2 「学校は、特別な支援が必要な児童への配慮がなされている。」79.9%（74.3%）

本校は117名と決して大人数ではありませんが、特別支援学級を3学級開設しています。また児童への対応で細かい配慮が必要な場合は市から配属されている支援員3名で支援しています。さらに教育相談担当として、心の教室相談員が1名（週3回）、スクールカウンセラーが月に一度来校しています。この他学期ごとに特別支援教育アドバイザーを要請し、指導方法の工夫等について職員が指導・助言を受けているところです。困り感を抱えている様子の児童には適宜、専門家を招き、発達検査等も実施しています。

学習面においては、いくつかの教科での専科指導に加え、算数においては、学級を二つに分けた少人数指導も実施している学年もあります。また毎日、市の少人数指導担当が算数等の指導をチームティーチングで行っています。さらに、今年度はNPO法人GAAの力を借り、3・4年生の算数のチームティーチング指導も行っているところです。

3 「児童は、家庭学習をしっかりと行っている。」69.9%（81.4%）

令和5年度第1回目の調査と比較して大きく数値がさがりました。家庭学習については、家庭学習の進め方を担任が指導したり、家庭学習推進週間等を設け、家庭学習に取り組む姿勢の強化を図ったりしています。子どもたちの学力向上には学校での学習のみならず、家庭での学習が必要不可欠です。今年度はタブレットを持ち帰っての「Qubena」というアプリケーションでの学習なども推進しています。家庭学習については家庭と学校で協力して進め、児童の学力向上を図っていきます。

4 「児童は、すすんで運動している。」77.5%（82.5%）

コロナ禍による制限も解除され、子どもたちは運動を十分に行う環境も元に戻りました。しかし、季節は寒くなり、確かに運動へのモチベーションがやや下がり気味な様子も見えます。学校では業間休みや昼休みに外で遊びながら運動するように促したり、千葉県教育委員会の「遊・友スポーツランキング」の縄跳び部門などに応募したりして運動へのモチベーションを高めています。